

# 行政財産からの新たな収入源を確保すべく研究を



井俣 憲治 議員

【議員】今年6月、愛知県庁1階にある2台の清涼飲料水自販機の設置料を、入札にしたら3年間の使用で、従来28万8000円だったのが200万円の値がついた。東郷町でも競争入札にすべき。

【副町長】財政の健全化の一つとして「新たな収入源の確保」は大変重要な取組と考えている。条件を整える必要性はあるが、導入を検討したい。

【議員】役場1階の銀行ATMコーナーが一つ空いている。利用者の利便性を考え、金融機関に入ってもらおうべく打診を。

【副町長】空いている所は、採算等が合わないために銀行が撤退をした。現在も金融機関に声をかけているが厳しい状況だ。

## 子ども達の体力向上 病気に負けない体づくり

【議員】乳幼児の健康、免疫力を高める1つの手段として、母乳育児があ

る。本町で母乳育児を推進してはどうか。

【健康部長】今まで以上に乳幼児の免疫力向上及び乳幼児を持つ親の健康を守るために、栄養面からも推進していきたい。

【議員】健康であること、健康であるための努力すること、食育、体力維持増大、これらすべては、子ども達が健全に育つため、病気にかららないような体と心を持つために必要なことと考える。教育行政トップの見解は。

【教育長】学校は学習ばかりではなく、集団生活を通して社会性を身につける場でもあり、心身の健康の大切さを認識させ、日常生活に実践していく態度を養う場でもある。とりわけ、義務教育の段階では、健康保持増進を意識させて実践していくことが、生涯にわたる健康な生活を築き上げていく上で礎となるものと認識している。

\*\*\*\*\*

# 公園等に健康遊具の整備を



石川 道弘 議員

【議員】利用者の少なくなった公園、児童遊園等に健康遊具を整備し、健康遊具を使った健康づくりを行う考えは。

【経済建設部長】三ツ池公園、白土第1公園のフックショップで、健康遊具に対する提案があり、議論もされたが採択に至らなかった。町にも「健康の道」足裏ツボの健康施設がいこまい館芝生広場南に設置してある。今後、先進地の健康遊具の設置を参考に、公園等の整備に健康遊具を取り入れたい。

【議員】和合の県道瀬戸大府線高架橋下は雨天でも利用できるか。健康遊具設置の考えは。

【町長】高架下は県の施設である。そこを利用した健康遊具の設置を研究してみたい。

## 新型コロナウイルス対策

【議員】新型コロナウイルス対策を考えているか。

【副町長】感染予防対策の徹底を周知するため、全戸回覧、町のホームページでの情報提供、町内の保育園・幼稚園・小中学校・高等学校・福祉施設に手洗い、うがいなどを徹底するよう通知をした。役場、体育館、いこまい館入口には、来場者用消毒液を設置、ポスター等で予防啓発を行っている。

【議員】予防資器材の確保と備蓄状況は。

【副町長】備蓄の状況はN95マスク(2500枚)、サージカルマスク(1万9000枚)、手指消毒薬(409ℓ)、機器消毒液(53ℓ)、ゴム手袋(1800枚)、ゴーグル(30個)、感染対策用防護キット(85セット)などを備蓄している。また使用済みマスク等の投棄用に密閉型投棄ボックスを設置したい。